

SA・YA・KA

初恋の痛みさえ ふと遠く思えるわ
きっと誰も愛せないとあの日泣いた
振り向けばそこにて 微笑みを投げる人
そっとうつもこの私を見つめていたの
抱き締められて 名前を呼ばれ
SA・YA・KA ささやか 囁かれて 頬まで染まる
愛は不思議 この私の何かを変える

色づけば摘み取られ 繰り返す哀しみも
女ならばきっと誰も悦びにする
気がつけば泣いている 優しさに怯えてる
あなたのこと思えばもう何も見えない
髪を撫ぜられ くちづけされて
SA・YA・KA ささやか 囁かれて 子供に帰る
ああ愛は不思議 今、私の思いは一途